

令和4年産 麦類技術情報 第1号

令和3年12月21日

宮城県美里農業改良普及センター

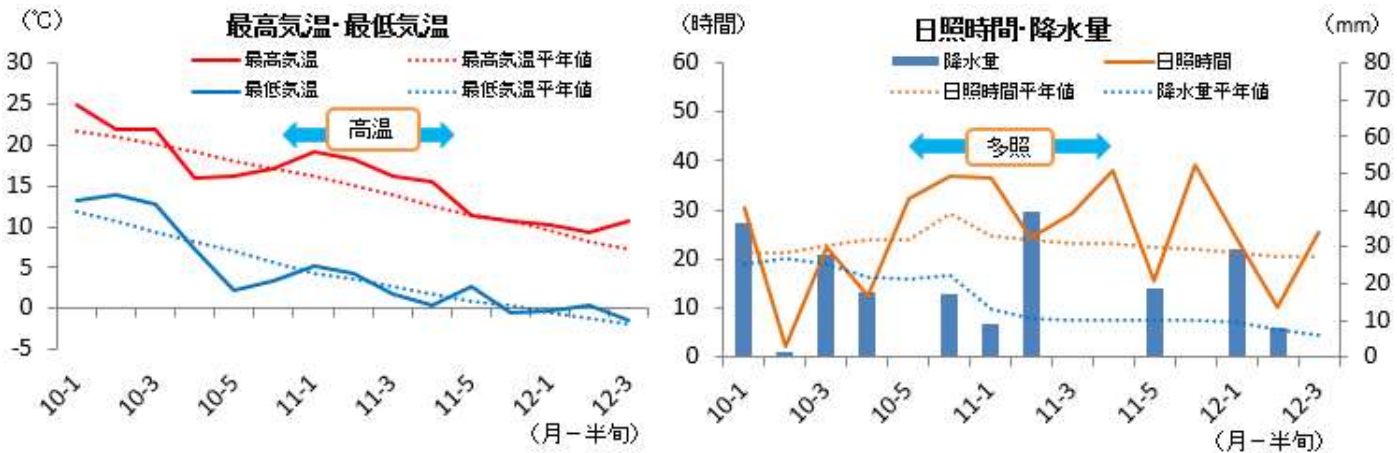
TEL 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



生育状況やほ場条件を確認し、積極的に麦踏みを実施しましょう！

1 気象経過 (10月第1半旬～12月第3半旬：アメダス鹿島台)



気温は10月第4～5半旬にやや低下したが、その他の期間は平年並か高めに推移している。日照時間も播種の始まった10月下旬以降は平年並みか多く経過した。一方、特別大雨はないものの周期的な降水が見られた。

2 生育調査ほ生育概況

表 小麦生育調査結果

地区名	品種	播種量 (kg/10a)	条間 (cm)	播種日			12月15日調査					
							草丈			莖数		
				本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差
大崎市 鹿島台	シラネコムギ (優決ほ)	9	25	11月3日	12日遅	±0日	7.2	44%	118%	124	8%	31%
涌谷町	夏黄金 (採種ほ)	11	21	11月4日	3日遅	2日早	8.4	92%	120%	226	72%	70%

※平年値は過去5か年の平均値を使用(夏黄金は過去4か年)。

11月3日播種のシラネコムギでは、平年より草丈は長いですが、莖数は大幅に少なくなった(播種量3割程度減、分けつ未発生)。11月4日播種の夏黄金では、平年と比べて草丈はやや長く、莖数はやや少なかった(分けつ発生始期)。

一般ほ場は、11月上旬頃までに播種したほ場では葉数が進んでおり、麦踏みを実践できる生育のほ場も見られる。大豆後作の麦は、大豆収穫の遅れや降雨の影響により、播種作業自体に極端な遅れが見られる。

3 今後の管理について

(1) 麦踏み：離乳期に達したほ場では積極的に実施しましょう。

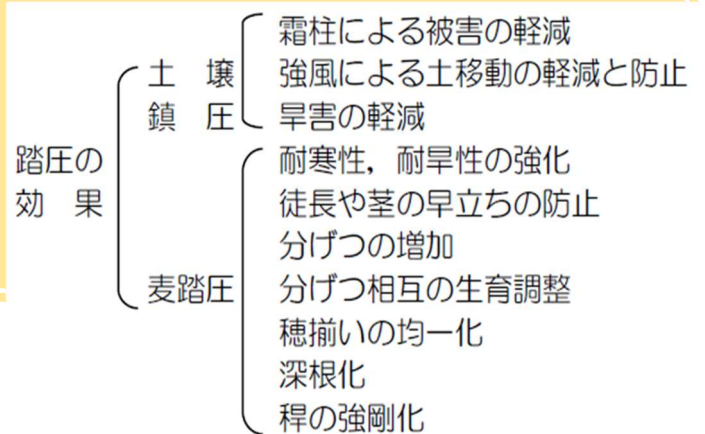
○効果

- ・乾燥，強風，暖冬時に高い効果。小麦より大麦，地力の低いほ場で効果が高い。ただし，過湿条件や重粘土壤では逆効果の場合も。

○作業時期と回数

- ・離乳期（3～4葉期）から茎立ち前まで（主稈長2cm，幼穂長2mm程度）。
- ・越冬前（凍結層ができる前）に1回，越冬後に1～2回実施。

- ・早播きや伸びすぎ，軽しろう土ほ場，暖冬年には大きな効果が期待できるので回数を多く実施（遅播きや過湿ほ場は，作業前に生育状況やほ場条件を確認する。無理はしない）。



(2) 排水対策：麦作の基本です。しっかり対策しましょう。

過湿条件では，根の伸長抑制や浅根化による分けつ減少，葉の黄化等の障害が発生するため，麦類では排水対策が重要です。また，麦踏みや追肥等の作業を適期に行うためにも，しっかりと排水対策を実施しておくことが大切です。

- ・ほ場を巡回して水が停滞する場所が無いか確認しましょう。
- ・明きよの状態を確認し，円滑に排水できるよう手直しをしましょう。

3 東北地方1か月予報（12月18日から1月17日）

向こう1か月は，東北太平洋側では，平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平均気温は，低い確率が50%（週別は下図参照）です。東北太平洋側の降水量は，多い確率が40%，日照時間は，平年並みの確率が40%です。東北日本海側の降雪量は，多い確率が50%です。



【令和3年12月16日 仙台管区气象台 発表】より抜粋・編集